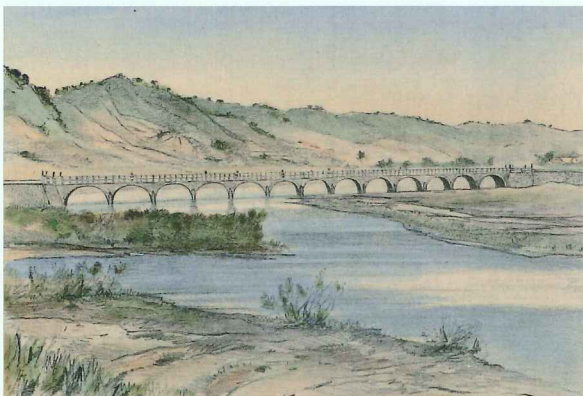


Gallery F | コレクション再発見

福島県立美術館
Fukushima Prefectural Museum of Art

開館時間: 9:30-17:00 (最終入館は16:30) | 休館日: 月曜日 | 観覧料: 無料

主催: 被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会 | 平成28年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業



[1期] 2017 | 1/21(Sat)-2/12(Sun)

- 新収蔵 鎌田正蔵展
- The missing-link ミッシングリンク 関根正二の新発見と未発見

[2期] 2017 | 2/18(Sat)-3/12(Sun)

- 133年前の福島 高橋由一 三県道路完成記念帖を読む
- 秀島由己男展
- 実践 福島県立美術館アートカード

- 1 2 鎌田正蔵《作品》1952年/カンヴァス・油彩
- 2 関根正二《茅葺き屋根の農家のある風景》(仮題) 制作年不詳/綿布・油彩/寄託作品
- 3 4 高橋由一「三県道路完成記念帖 福島県之巻」《信夫郡福島町葎川二架スル信夫橋/図》1885年/絹・石版・着彩/寄託作品
- 4 福島県立美術館アートカード
- 5 秀島由己男「版画集 舊約聖書「詩篇」より」《A 我はいと高き神によばはん わがために百事をなしをへたまふ神によばはん》1989年/紙・エッチング、アクアチント

福島県郡山市を拠点に活動した鎌田正蔵(1913-1999)は、本県の戦後洋画史に忘れがたい足跡を残した画家です。東京美術学校在学中に、同級生である、杉全直や本県出身の若松光一郎らとグループ「ほう貌」で活動、シュルレアリスム(超現実主義)に傾倒しました。戦後は具象と抽象のあいだを揺れ動きながら、ベトナム戦争やチェルノブイリ原発事故など、その時々々に社会をにぎわせた事件や問題を、独特な視点で描き出しました。

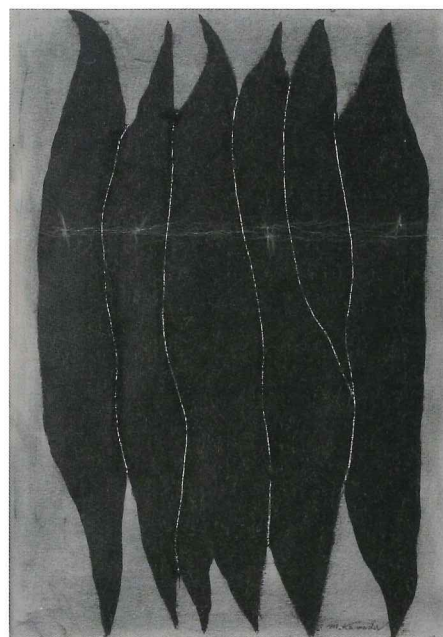
彼の作品には、まるみを帯びた、どこかエロチックなモチーフが頻繁に登場します。「自分なりに好きなフォルムと色を人間に探し求めてきた」と自ら語っているように、そうしたモチーフの着想源は人体でした。福島県立美術館では、2015年度にご遺族より90点の作品を寄贈していただきました。本展覧会は、それらの新収蔵作品を中心に鎌田の画業をたどりながら、人体モチーフを千変万化させて新たなイメージを生成していく彼の造形思考の過程に迫ります。

スペシャル・ギャラリートーク

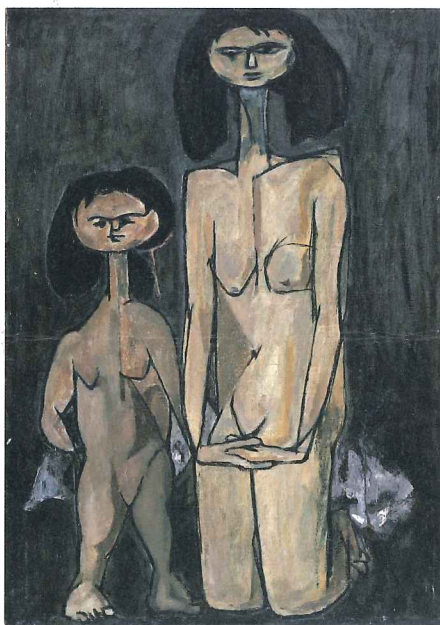
- 企画展示室入口にお集まりください。
- 2月4日(土) 14:00-15:00
- 講師: 杉原聡氏(郡山市立美術館学芸員)

担当学芸員によるギャラリートーク

- 企画展示室入口にお集まりください。
- 1月21日(土) 14:00-15:00



112



314